

巻頭言

着任のご挨拶

みなさんこんにちは。6月より歯科・歯科口腔外科の診療責任者として赴任致しました、葭葉清香（よしば さやか）と申します。

もともと私は2014年3月から5年間、北部病院の歯科・歯科口腔外科で診療責任者として勤務させて頂いた時期があります。当初は、大学院を修了して間もなくの段階で当院へ赴任しましたので、臨床業務や診療科の運営について、院内診療科や地域歯科医師会の先生方、メディカルスタッフのみなさんからたくさんのお力をお借りし、自分自身を成長させて頂きました。その様な大切な場所に再び戻って、働く機会を与えて頂いた事を大変有難く思っております。



＜歯科・歯科口腔外科＞

＜講師 葭葉清香＞

私は卒業から現在まで、口腔外科の診療に従事してきました。口腔外科では、一般の歯科医院では対応が難しい、口腔領域に生じる様々な疾患に対して診察と治療を行っています。対象としている疾患は、埋伏智歯・有病者の抜歯・顔面外傷・口腔粘膜疾患・良性腫瘍・悪性腫瘍・唾液腺疾患と多岐にわたります。また、臨床と並行して、学術面では科研費事業のサポートを得て、当院心臓血管外科の先生方と、心臓疾患における口腔内細菌の関わりについて基礎研究を行っています。口腔内細菌が心臓疾患、糖尿病、脳出血、肺炎、非アルコール性肝炎などの全身疾患の発症や増悪に関与することがわかってきましたが、その詳しいメカニズムの解明には至っておりません。今後、心臓疾患の病態や進行度における口腔内細菌叢（細菌の集団）や口腔内環境の影響を少しでも解明し、患者さんの全身の健康につながる歯科診療に反映させることを目標にしています。

当科では、口腔外科全般の診療以外にも、医科の診療科において全身麻酔下での手術や化学療法などを予定している患者さんへの口腔ケアにも積極的に取り組んでいます。医歯連携による口腔ケアは肺炎などの合併症を予防することで在院日数を短縮する効果もあり、今後より一層重要になってくるものと思います。また、安心・安全な治療を提供するために、歯科麻酔科と連携し静脈麻酔や全身麻酔下による外科治療も行っています。さらに、2020年4月からは昭和大学歯科病院障がい者歯科と連携し、全身麻酔下での障がい者歯科治療も行っております。

摂食、咀嚼、嚥下、構音などの口腔機能は、人の生命活動に必須の機能です。しかし、さまざまな疾患によりこれらが障害を受けると、人が生活する上で大きな支障を来します。関連各科や近隣歯科医師会の先生方と連携し集学的治療を行い、横浜市北部地域医療に貢献できるよう精励して参ります。歯科・歯科口腔外科への皆様の御支援を今後ともよろしくお願いいたします。



- P1. 【巻頭言】 着任のご挨拶
- P2. 【医学講座】 肝炎ウイルスについて
- P3. 【医学講座】 肝炎ウイルスについて
- 【お知らせ】 市民公開講座を開催しました
- P4. 【お知らせ】 世界早産児デー（11/17）について
- P5. 患者さんからのご意見・ご要望について
- P6. 【お知らせ】 当院へのご支援の御礼／編集後記

【医学講座コーナー】 肝炎ウイルスについて

(消化器センター 准教授 馬場俊之)

肝炎ウイルスの特徴

	A型肝炎	B型肝炎	C型肝炎	E型肝炎
起因ウイルス	HAV	HBV	HCV	HEV
特徴	RNA	DNA	RNA	RNA
感染様式	経口（便）	血液・体液 母児感染	血液・体液	経口（便）
潜伏期	2-6週	1-6か月	1-3か月	3-9週
流行発生	あり	なし	なし	あり
感染形態	急性	急性、慢性	急性、慢性	急性
肝細胞癌	なし	あり	あり	なし
劇症肝炎	まれ	あり	まれ	あり
予防	HAワクチン ヒト免疫グロブリン	HBVワクチン HBs抗体含有ヒト免疫グロブリン（HBIG）	なし	なし

肝炎ウイルス

肝炎ウイルスは主に 4 種類（HAV, HBV, HCV, HEV）ありますが、肝炎ウイルス以外でも肝炎を発症します。

感染経路

HAV と HEV は水や食べ物を介して感染します。A 型は牡蠣など、E 型は豚・猪・鹿などを加熱不十分な状態で食べると感染します。HBV と HCV は血液や体液を介して感染します。以前は輸血や予防接種が主な原因でしたが、最近は麻薬など薬物に使用する針や注射器、入れ墨やピアスの穴あけに使用する器材の共有、性交渉、医療現場での針刺し事故に注意が必要です。

経過

HAV や HEV に感染すると急性肝炎を発症しますが、概ね経過は良好であり自然経過で治癒します。A 型肝炎の死亡率は 0.3% ですが、高齢者では劇症肝炎（肝機能が著しく悪化する重症肝炎）を発症し、2～5% に上昇します。E 型肝炎の死亡率は 1～2% ですが、妊婦では 20% に達することがあります。

HBV に感染した母親から生まれた胎児は分娩時に母子感染しますが、1986 年に母子感染予防プログラムが開始され、ほぼ見られなくなりなした。5 歳未満の子供が家族内あるいは集団生活において感染すると、免疫の働きが未熟のためウイルスを排除できず、明確な症状が顕れないまま成長します。大人になり免疫が成熟すると、顕性（症状あり）または不顕性（症状なし）の肝炎を発症した後、90% は肝機能正常となり症状が落ち着きますが、10% は慢性肝炎が持続し、一部は肝硬変、肝臓癌に進行します。大人の感染は 70% は不顕性感染で終わりますが、30% は急性肝炎を発症します。自然経過で治癒しますが、最近では慢性化も報告されています。感染予防として、2016 年から出生児を対象に B 型肝炎ワクチンの定期接種が行われています。

HCV に感染すると急性肝炎を発症し、30% は治癒しますが、70% はウイルスが排除されず慢性肝炎に移行し、一部は肝硬変、肝臓癌に進行します。

症状

急性肝炎では感冒様症状（発熱，倦怠感など）がみられ、肝機能の悪化に伴い黄疸などを発症します。劇症肝炎の頻度は、HBVでは1～2%、他のウイルスでは1%未満とされています。慢性肝炎はほぼ無症状ですが、肝硬変に進行すると全身倦怠感、筋力の低下や痙攣、さらに進行すると黄疸、浮腫腹水、肝性脳症などがみられます。

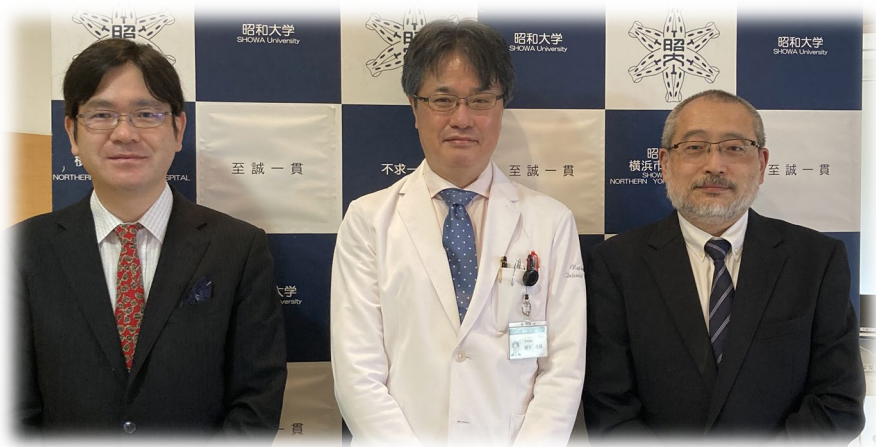
診断

HBVとHCVは持続感染により肝硬変や肝細胞癌に進行することがあるため早期発見、早期治療が大切です。肝炎ウイルスの診断は血液検査で行いますが、自治体では「B型・C型肝炎ウイルス検診」を実施しており、無料で受けることができます。HBs抗原やHCV抗体が陽性であれば、専門医の受診をお勧めします。

治療

急性肝炎は一般に自然経過で治癒します。ALT（肝機能酵素）が異常を示すB型慢性肝炎や、ALTに関わらずウイルスに感染しているC型慢性肝炎では治療適応があり、内服薬で大きな副作用はなく、病気の進行を抑えることができます。

【お知らせ】市民公開講座を開催しました



右から、都筑区医師会 会長 深澤 立 医師
中央は、当院 緒方浩顕 副院長
左は、当院 総合サポートセンター長 三輪裕介 准教授

10月9日（土）に市民公開講座を開催しました。今回の市民公開講座は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンライン開催となりました。当日は80名を超える方々にご参加いただき、好評のうちに終了いたしました。ご参加いただいた皆さまにこの場を借りて御礼申し上げます。

なお、講演の録画は今後当院ホームページからご視聴いただけるようになる予定です。公開準備が整いましたら、改めてお知らせさせていただきます。

テーマ「病診連携：都筑区医師会と北部病院の取り組み」

第1部 「病診連携－北部病院の取り組み」

昭和大学横浜市北部病院 総合サポートセンター長 三輪裕介 准教授

第2部 「病診連携－診療所の上手なかかり方」

都筑区医師会 会長 深澤 立 医師

【お知らせ】世界早産児デーについて

(こどもセンター 講師 村瀬正彦)

11月17日は世界早産児デーです。早産とは、出産予定日から3週間以上早く（妊娠37週未満）出生することです。日本では、毎年約10%の赤ちゃんが早産で出生しています。世界早産児デーは、早産のことを多くの人に知ってもらうために制定されました。この活動は、早産を経験した家族が中心となって2008年から活動が始まり、世界各国に広まりました。世界早産児デーにはイメージカラーである紫を用いたいろいろなイベントが行われ、SNSなどを通じて約15億人の方々が共有しています。

今年の世界早産児デーのテーマは、“zero separation (分離ゼロ)”です。早産で生まれた赤ちゃんの多くが新生児集中治療室(NICU/GCU)に入院します。このようにご家族と離ればなれになってしまった赤ちゃんにとって、ご家族が面会に来ることは、治療にも重要な効果があります。そのためコロナ前の当院NICU/GCUは、24時間いつでも面会を受け付けておりました。しかし、現在は感染予防のために面会制限を行っています。コロナウィルスのパンデミックにより、赤ちゃんとその家族の環境は激変し、当院だけではなく全世界で問題となっています。当院では、オンライン面会を導入したり、ご家族がいないときのご様子をお伝えするメッセージカードをお渡ししたりするなど、赤ちゃんがご家族と“離ればなれ”になってしまうことを少しでも減らすために様々な取り組みを行っています。

11月17日は、早産児とその家族に対する皆様のあたたかいエールをお願いします。



世界
早産児デー

11月17日



世界で生まれる赤ちゃんの10人にひとりが早産です

powered by



global alliance
for newborn care



European foundation for
the care of newborn infants

患者さんからのご意見・ご要望について

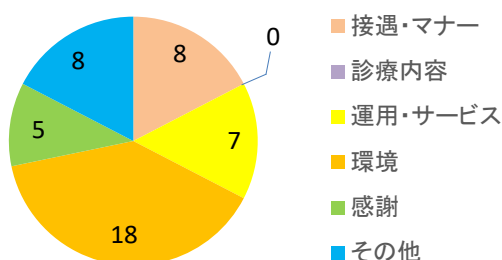
日々患者さんよりいただきましたご意見・ご要望に関しましては、病院長及び関連する部署の責任者に報告し、改善に努めております。

今までのご意見の中で多くいただいたものや最近のご意見・ご要望を中心に改善策を掲載させていただきました。掲載されていない内容についても対応しておりますのでご了承ください。

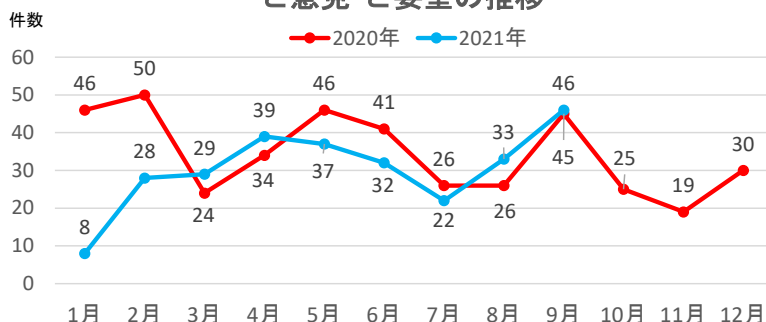
今後もお気付きの点やご要望をお聞かせくださいますようお願い申し上げます。

ご意見・ご要望	回答・改善等
面会制限をするのは理解できますが、そもそも看護師の方々の予防行動はできているのでしょうか。	この度は貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。 現在、報道にもあります通り、新型コロナウイルスが爆発的に流行していることから、面会を制限しております。 それに伴って、ご家族の不安などの心情は計り知れないと思っております。 私たち看護師も、出勤前の体温測定、体調管理表の記載、不要不急の外出禁止、会食等の参加禁止など、医療者として日々の生活から感染予防に留意し、病院に新型コロナウイルスを持ち込まないよう対応しております。 今後も皆様の不安につながらないよう、さらに注意してまいります。 （回答部署：看護部）
西棟2階の駐車料金事前精算機で、お釣りが出ないなど、トラブルがあった際の連絡先（電話番号等）を明記してほしいです。	この度はご迷惑をおかけし、誠に申し訳ございませんでした。 西棟2階と中央棟地下3階（現在、コロナ禍につき閉鎖中）の駐車料金の事前精算機には、呼出しボタンを設けています。呼出しボタンを押していただければ、その場で警備員と連絡がとれますので、ご利用いただければと存じます。 貴重なご意見ありがとうございました。 （回答部署：管理課）
入口で検温されますが、先日、入館の際、前の方が37.1度で異常になったにもかかわらず、スタッフの方は「外が暑いからですよ」と言って、そのまま通されていたので、不安になりました。37.5度を超えていたら、別の対応になるのかもしれませんが、少し待って再度検温するなど、対応が必要ではないでしょうか。	ご意見ありがとうございます。 患者さんによっては、37度前後が平熱の方がいらっしゃいますので、当院では37.5度以上を異常とし、再測定を行っております。 ご理解のほど、よろしくお願いいたします。 （回答部署：管理課）

2021年9月
ご意見・ご要望の総計46件



2020年・2021年
ご意見・ご要望の推移



当院へのご支援の御礼



引き続き多くの方から当院にご支援をいただいております。
小岩井牛乳横浜ミルクセンター様からはヨーグルトのご寄付をいただきました。
ご寄付くださった方々の温かい心遣いがスタッフの活力となっております。
当院へご支援くださった皆様へ、この場を借りて、改めて御礼申し上げます。

なお、ご支援の詳細は当院ホームページでも掲載しております。

(<http://www.showa-u.ac.jp/SUHY/index.html>)

編集後記

11月15日は昭和大学の創立記念日です。93年前の1928年（昭和3年）に昭和大学の前身となる昭和医学専門学校が設立され、1964年（昭和39年）に現在の昭和大学と名称変更となりました。本学の創始者である上條秀介博士は、建学の精神として「至誠一貫」を掲げました。「常に相手の立場にたって、まごころを尽くす」という意味のこの言葉は、建学以来昭和大学の基本方針です。昨今のコロナ禍においては医療者も含め人々が多大なストレスに晒されていますが、私どもは「至誠一貫」を胸に、真心を以て診療に当たるように日々心がけております。世界的な災害とも言えるこの状況を何とか乗り切れるように頑張っていきたいと思います。

朝晩の寒暖差も大きくなり、冬の到来が近づいているようですね。皆様、どうか体調を崩すことの無いようにお過ごし下さい。

（こどもセンター 助教 岩久貴志）



北部病院だより 第161号
2021年11月1日発行

発行責任者 門倉 光隆（昭和大学横浜市北部病院長）
編集責任者 緒方 浩顕（広報委員会 委員長）
発行 昭和大学横浜市北部病院
〒224-8503 横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1
電話 045-949-7000(代表)
URL: <https://www.showa-u.ac.jp/SUHY/>
北部病院ホームページにて最新・過去の『病院だより』がご覧いただけます。